

R-CORPORATION

2022年／第1回 広報誌 <<調査者研修号>>

2022年8月吉日

2022年 Rの動向

1. 新規活動のお知らせ

一般社団法人「R 福祉活動の会」発足

2. 横浜市指定管理者第三者

評価の受注

3. 外部評価について

4. コロナ禍関連について

5. 年度別受注件数報告

いつも調査者のみなさまにはご尽力を賜りまして誠にありがとうございます。

続くコロナ禍の中、調査者のみなさまにRの近況をお知らせすると共に、ご活躍いただいている方、ご無沙汰いただいている方に再度、Rを身近に感じていただきながら更なる社会への貢献に努めていただければ幸甚と思い、「調査者研修号」をご案内させていただきます。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

(株)R-CORPORATION スタッフ一同

「お知らせ」 2022年 Rの動向

1. 一般社団法人「R 福祉活動の会」発足 (2022年4月6日付)

日本の少子化は益々進み、日本を支えこれからの担うのは、現役を退いた元気な高齢者の層と考え、「福祉」に参加してもらうことをねらいとし、「R 福祉活動の会」を発足いたしました。活用の方向は幅広く、特に、福祉に関しては大きな戦力となると捉え、「R 福祉活動の会」の活動を通して、Rの他事業にも活躍してもらえよう、福祉を学び、興味と楽しみ、そしてご自身の引き出しを生かしてもらえよう、事業所等にご協力いただきながら計画的に活動を行い、来年の5月頃を目安に進めていきます。詳しくはHPのパンフレットをご参照下さい。 <https://r-corp.jp>

2. 横浜市指定管理者第三者評価の受注

2021年末に横浜市から「横浜市指定管理者第三者評価機関」の認可を受けました。横浜市指定管理者第三者評価は、毎年、横浜市から対象施設が発表され、受審金額も横浜市で一律に定められています。また、1事業者につき受審年において、連続して同じ機関での受審は認められないことになっています。対象施設は、地区センター等、公会堂、スポーツセンター、老人福祉センター、福祉保健活動拠点、地域ケアプラザ、子どもログハウス等、区民利用施設となります。昨年は対象施設が少なく、実績を挙げる事ができませんでしたが、今年度は、実施予定対象施設の8%に受注を達成しています。今後、R事業の1つの柱に育てるよう受注活動に力を入れていきたいと考えています。指定管理者第三者評価については、今年度が初めての実施のため、流れの定形化を図った上で評価員の皆様にお示しして行く予定にしています。是非、福祉サービス第三者評価調査者、外部評価調査員の皆さまにも指定管理者第三者評価の調査員の資格を取得していただき、ご協力をお願いしたいと存じます。ご検討の程、よろしくお願い申し上げます。

【指定管理第三者評価】横浜市では、地方自治法に基づく報告、調査、指導等に加え、「利用者会議」、「利用者アンケート」及び「電話やFAXによるご意見・ご要望」といった手法により、利用者の声を施設運営に反映させる取組を進めてきました。この取組に加え、指定管理者自らが業務改善を行い、サービスの質の向上を図ることを目的に、より客観的・多角的な第三者による点検評価を実施しています。



株式会社 R-CORPORATION

〒231-0023

横浜市中区山下町 74-1 大和地所ビル9F

TEL	045-264-6621
FAX	045-264-4746
E-mail	pr@r-corp.jp
HP	https://r-corp.jp

Rの社是

I. 「利他の心」について

「利他の心」を判断基準にする考え方は、1986年に京セラの会長職に就任した稲盛和夫氏が「フィロソフィ」として取り上げたものが基調となっています。弊社では社是としてその考え方を取り入れ、会社の credo

(CREDO) に盛り込み、関係職員の姿勢として取り組んでいます。

私共が「利他の心」の考え方として掲げているのは、①「心が変われば行動が変わる」②「行動が変われば習慣が変わる」③「習慣が変われば人格が変わる」④「人格が変われば運命が変わる」の4項目です。また、稲盛和夫氏の「フィロソフィ」から4つの考え方に潜む様々なフィロソフィが見え、一部または全体を理解することで自身の方向性が見えてくる

思われます。(次ページ) 調査者研修の1つとして情報を提供し、共に自己研鑽の一助にして頂きたいと願います。

「コロナ禍」という大変な時代が、将来の発展の基礎になる。全てにおいて、ものの考え方を換え、今まで考えつかなかったものも考えつくよう、希望に満ち溢れる社会に変える原点となる方向を見据えましょう。

3. 外部評価について

2020年3月、厚労省から外部評価は事業所内の運営推進会議の中で実施することにより外部評価の受審に代わるものとする(但し、市職員、有識者の下)、または評価機関による外部評価で2択ができることの通達がありました。弊社のクライアントでは1~2法人(系列複数事業所)が運営推進会議での外部評価の実施を選択されましたが、現時点、福祉に熱心な横須賀市の事業所では、事業所内で外部評価を行うのは厳しいという事業所が多く従来通りの状況です。横浜市については現状維持で、これまで通り受注が進んでいます。引き続き、成り行きを見て行きたいと考えています。神奈川県の見解では、出来るだけ訪問・インタビューの推進を図っていますが、事業所自体は懐疑的であり、コロナ禍が相乗し、リモート意向が断然多く、今年度は訪問調査に移行できるよう努力しております。外部評価調査員の方々におかれましては、引き続きご尽力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

4. コロナ禍関連について

コロナウイルス感染症は一時、少し落ち着いてきたかと思われましたが、BA2からBA5に移管してきており、最近ではサル痘が発見される等、また、感染後の後遺症も変異してきている状況で罹患して長引く状態もみられています。保育園では、園児、保育者の感染状態が再燃しており、高齢者・障害者施設でもクラスターにより利用者、職員の感染が増えてきています。全国的に第7波の時代に突入してきており、コロナは病気以上に労働環境の足枷となるケースが問題となってきています。第三者評価、外部評価においても、春に前年度より緩和傾向が見られ、年間行事をしっかりと計画立てるところが多く見られ、また、監査もリモートから訪問に切り替わり、受審日が秋以降に流れる傾向がみられました。コロナ禍前に戻ったといっても過言でないくらいの現象であり、さらに、コロナ感染症の増加傾向により、受審の日延べが多々あり、今年度は2月まで調査が入り、受審件数も減少傾向であり、機関の「コロナ感染」と云えそうです。厳しい状況の中、何卒、第三者評価調査者の方々にはご協力をお願い申し上げます。

5. 年度別受注件数報告

2012年から2021年度までの受注件数の集計・分析を行いました。

【第三者評価(高齢・障害・保育・社会的養護)】

2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
30件	46件	42件	40件	46件	57件	27件	61件	37件	53件

TTL 439件 (平均値: 高齢 2.2 ・ 障害 2.3 ・ 保育 35.3 ・ 社会的養護 4.1)

【外部評価】

2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
170件	193件	177件	162件	152件	152件	153件	151件	134件	115件

Rの社是について

Rの社是の1つである「利他の心」は、稲盛氏の考え方、そのフィロソフィを基調とし、それらは実践を通して得た人生哲学であり、基本は、「人間としてこういう生き様が正しいという思い」にあります。～このような生き方で人生を送って行けば一人ひとりの人生も幸福になり、会社全体も繁栄する～（稲盛氏）に共感し、取り入れさせていただいています。

ここでは、稲盛氏のフィロソフィを紐解き、特に、要素4に示す内容について共有理解及び、実践へとつなげていければと願い、調査者研修の1つとして提供させていただくものです。以下、稲盛氏の言葉を記し、考え・問う機会となればと思います。

すばらしい人生をおくるために

I. 心を高める

① 「宇宙の意思」と調和する心

世の中の現象を見ると、宇宙における物質の生成、生命の誕生、そしてその進化の過程は偶然の産物ではなく、そこには必然性があると考えざるを得ません。この世には全てのものを進化発展させていく流れがあります。これは「宇宙の意思」というべきものです。この「宇宙の意思」は、愛と誠と調和に満ち満ちています。そして私たち一人ひとりの思いが発するエネルギーと、この「宇宙の意思」とが同調するのか、反発し合うのかによってその人の運命が決まっています。宇宙の流れと同調し、調和をするようなきれいな心で描く、美しい思いを持つことによって、運命も明るく開けて行くのです。

② 「愛と誠と調和の心」をベースとする

人生においても仕事においても素晴らしい結果を生み出すためには、ものの考え方、心の在り方が決定的な役割を果たします。人を成功に導くものは、愛と誠と調和という言葉であらわされる心です。こうした心は、私たち人間が元々魂のレベルで持っているものです。「愛」とは、他人の喜びを自分の喜びとする心であり、「誠」とは、世の為人の為になることを思う心、「調和」とは、自分だけでなく周りの人々、皆が常に幸せに生きることを願う心です。この愛と誠と調和を尊ぶ心から出てくる思いが、その人を成功に導いていく基盤となるのです。

③ きれいな心で願望を描く

きれいな心で描く願望でなければ、素晴らしい成功は望めません。強い願望であっても、それが私利私欲に端を発したものであるならば一時的には成功をもたらすかもしれませんが、その成功は長続きしません。世の道理に反した動機に基づく願望は、強ければ強いほど社会との摩擦を生み、結果的には大きな失敗につながっていくのです。成功を持続させるには、描く願望や情熱がきれいなものでなければなりません。つまり、潜在意識に浸透させていく願望の質が問題となるわけです。そして、純粋な願望を持ってひたすら努力を続けることによって、その願望は必ず実現できるのです。

④ 素直な心を持つ

素直な心とは、自分自身の至らなさを認め、そこから努力するという謙虚な姿勢のことです。兎角能力のある人や気性の激しい人、私の強い人は、往々にして人の意見を聞かず、たとえ聞いても反発するものです。しかし、本当に伸びる人は、素直な心を持って人の意見を良く聞き、常に反省し、自分自身を見つめることのできる人です。そうした素直な心でいると、その人の周囲にはやはり同じような根を持った人が集まってきて、物事が上手く運んでいくものです。自分にとって耳の痛い言葉こそ、本当は自分を伸ばしてくれるものであると受け止める謙虚な姿勢が必要です。

「フィロソフィ」4つの要素

1. 「会社の規範となるべき規則、約束事」
2. 「企業が目指すべき目的、目標を達成するために必要な考え方」
3. 「企業にすばらしい社格を与える」
4. 上記3つ要素のベースとなる「人間としての正しい生き方、あるべき姿」を示す

※ 4つの要素を知識として理解するのではなく、日々の仕事や生活において実践していくことが何よりも大切であり、実践に向けた弛まぬ努力が、その人の心を高め、人格を磨くことにつながる。そして、フィロソフィを共有した人達が集う集団には、夢と希望に溢れる明るい未来が必ず開ける。と説いています。

⑤ 常に謙虚であらねばならない

世の中が豊かになるにつれて、自己中心的な価値観を持ち、自己主張の強い人が増えてきたと言われています。しかし、この考え方はエゴとエゴの争いが生じ、チームワークを必要とする仕事等できるはずはありません。自分の能力やわずかな成功を鼻にかけ、傲岸不遜になるようなことがあると、周囲の人達の協力が得られないばかりか、自分自身の成長の妨げにもなるのです。そこで集団のベクトルを合わせ、良い雰囲気を保ちながら最も高い能率で職場を運営するためには、常に皆がいるから自分が存在できるという認識の下に、謙虚な姿勢を持ち続けることが大切です。

⑥ 感謝の気持ちを持つ

社内に人の和が無いと、お客様に喜んでいただけるものは作れません。何故なら、製品にはそれを創る人の心が反映されているからです。ところが「私がわたしが」と言った利己的な考え方では、社内に和を創って行くことはできません。私達が今日あること、そして存分に働けることは、お客様や取引先は勿論、職場の仲間、家族といった周囲の多くの人々の支援があるからこそです。決して自分達だけでここまでこれたわけではありません。このことを忘れず、常に周囲への感謝の気持ちを持ち、お互いに信じ合える仲間となって仕事を進めて行くことが大切です。

⑦ 常に明るく

どんな逆境にあっても、どんなに辛くても、常に明るい気持ちで理想を掲げ、希望を持ち続けながら一生懸命努力を重ねてきた結果が、会社の今日を創ります。人生は素晴らしく、希望に満ちています。常に「私には素晴らしい人生が開かれている」と思い続けることが大切です。決して不平不満を言ったり、暗く鬱陶しい気持ちを持ったり、ましてや人を恨んだり、憎んだり、妬んだりしてはいけません。そういう思いを持つこと自体が人生を暗くするからです。非常に単純なことですが、自分の未来に希望を抱いて明るく積極的に行動して行くことが、仕事や人生をより良くするための第一条件なのです。

II. より良い仕事をする

① 仲間のために尽くす	② 信頼関係を築く	③ 完全主義を貫く
④ 真面目に一生懸命仕事に打ち込む	⑤ 地味な努力を積み重ねる	⑥ 自ら燃える
⑦ 仕事を好きになる	⑧ 物事の本質を究める	⑨ 渦の中心になれ
⑩ 率先垂範する	⑪ 自らを追い込む	⑫ 土俵の真ん中で相撲を取る
⑬ 本音でぶつかれ	⑭ 私心のない判断を行う	⑮ バランスの取れた人間性を備える
⑯ 知識より体得を重視する	⑰ 常に創造的な仕事をする	

III. 正しい判断をする

① 利他の心を判断基準にする	② 大胆さと細心さを併せ持つ	③ 有意注意で判断力を磨く
④ フェアプレイ精神を貫く	⑤ 公私のケジメを大切にす	

IV. 新しいことを成し遂げる

① 潜在意識にまで透徹する強い持続した願望を持つ	② 人間の無限の可能性を追求する	
③ チャレンジ精神を持つ	④ 開拓者であれ	⑤ もうダメだと言う時が仕事の始まり
⑥ 信念を貫く	⑦ 楽観的に構想し、悲観的に計画し、楽観的に実行する	

V. 困難に打ち勝つ

① 真の勇気を持つ	② 闘争心を燃やす	③ 自らの道は自ら切り開く
④ 有言実行で事に当たる	⑤ 見えて来るまで考え抜く	⑥ 成功するまで諦めない

VI. 人生を考える

①	人生・仕事の結果 = 考え方 × 熱意 × 能力	②	一日一日を真剣に生きる
③	心に描いた通りになる	④	夢を描く
⑥	純粋な心で人生を歩む	⑦	小善は大悪に似たり
		⑧	反省ある人生を送る

I～VIについて、日々の仕事や生活において実践していくことが何よりも大切であり、実践に向けた弛まぬ努力が、その人の心を高め、人格を磨くことにつながる。そして、これらを共有した人達が集う集団には、夢と希望に溢れる明るい未来が必ず開ける。ということが理解いただけだと思います。そして、このような生き方で人生を送って行けば一人ひとりの人生も幸福になり、会社全体も繁栄する。日々の行い、心構えが人生を作り上げられていくことがわかります。頭で理解していても人間の顕示欲等が働き、行動と反比例となることもある環境・生活でもありますが、私共は社是に掲げ、「利他の心」を目指していく人間作りに精進して行きたいと思っております。

次回は、社是に掲げるシリーズ化を図り、調査者研修の1つとして情報提供し、共に自己研鑽の一助にして頂ければと考えています。

今後共、よろしくお願い申し上げます。



残暑お見舞い申し上げます。2022年は寅年、芽を出したものが「成長していく（見えて来る）」年、これから成長する物事の「象徴が生まれる（始まる）」年と言われております。格言では、「虎は千里行って千里帰る」と、勢いが盛んな様なたとえとして使われています。勢いが盛んであることは成長する上でとても大切な要素の一つでもあります。今年度の新規事業、第三者評価の秋冬に集中した日程においても、皆一丸となって1つのベクトルに向い、勢いを持って取組んで参ります。皆様、ご協力の程、よろしく お願い申し上げます。
代表取締役 倉内 エリカ

〈Rのかたえくぼ〉「俺たちに老後はない！」私は昭和13年の生まれ、終戦の時は小学校1年生。終戦の時の日本の有り様は鮮明に覚えています。新潟の良寛さんの郷と、田中角栄の郷の間の「石地」という長閑なところで終戦を迎えましたが、その田舎に米兵の乗ったジープが通りました。日本は負けたのだと子どもながらに思いました。それから3～4年経ったころ、第一次ベビーブームがあり、日本の人口分布は樽型になり、それが日本の景気を押し上げました。そして月日は経ち「令和」となり、今では樽型が旋風型の人口分布になり、人口の多いところは60～80歳の人々となっています。日本を、産業を、サービスを支えるのは60～80歳です。60歳で定年を迎え、それから後は悠々自適・・・そんな時代は終わりました。老後の大きな国の負債はこの年代で返さないと誰も返してくれません。私どもがこの度、一般社団法人として活動するねらいもここにあります。さあ！「R福祉活動の会」を始動します。ぜひ、ご協力をお願いします。
松本 信明

【編集後記】

倉内 裕基	昨年末から横浜市指定管理者第三者評価機関として新たにスタートしました。これまで皆さま方との調査同行で学び得たノウハウを生かせるよう努力して参る所存です。余暇は、サッカー観戦、サイクリング、釣り等、暑さに負けず趣味も一生懸命です。最近、周りから「痩せたら」という声に「気付き」をいただき、精進しております(笑)
永松 景子	主に第三者評価を担当しています。第三者評価も外部評価も調査者の皆さまがいなければ成立しません。日頃、電話やメール対応程度で中々皆さまにお会いする機会がありませんが、常に感謝の気持ちを忘れず、全力でサポートさせていただきます！以前、電話対応コンクールに入賞し、その実績がRでも生かされています。
跡部 梨紗	オールマイティに事務、総務を担当しています。前職では航空業界に携わり、稲盛氏の教えを体現して参りました。Rでも体現しながら、皆さんと一丸となってオールを漕いで行きたいと思っております。家庭では姉妹（小4・2年生）の母&5才になるネコ「ラテ」のお世話等、こちらもオールマイティにしています！今後共よろしくお願ひ致します。
加藤 友理	主に外部評価を担当しています。社内では物静かですがいざとなったら心身共に力持ちの、動物大好きな加藤です！我家にはロップイヤーのウサギの女の子「モコチ」がおり、もうすぐ2才です。頭を撫でられるのが好きな可愛い子です。毎日かわいい仕草を見て癒されています。

お知らせ



全国青年保育者会議 横浜・神奈川大会で PR
2022年9月13日～15日 横浜ベイホテル東急
みなとみらい線みなとみらい駅下車 徒歩3分

全国から保育従事者が横浜に集結する大会で R の PR を行う運びになりました。



スタッフユニフォームを着てがんばります！

当日、弊社のポスター「なんでクマ？」から注目につなげられるか (^ ω ^) …

福祉サービス第三者評価機関

(神奈川県認証第5号・埼玉県認証 2020252・茨城県認証 2017-1)

株式会社 R-CORPORATION



～組織の体質改善は第三者評価受審から～

お問い合わせ



横浜市中区山下町 74-1 大和地所ビル 9F
㈱R-CORPORATION 第三者評価事業部
TEL045-264-6621 Fax045-264-4746
E-mail:pr@r-corp.jp <https://www.r-corp.jp>